

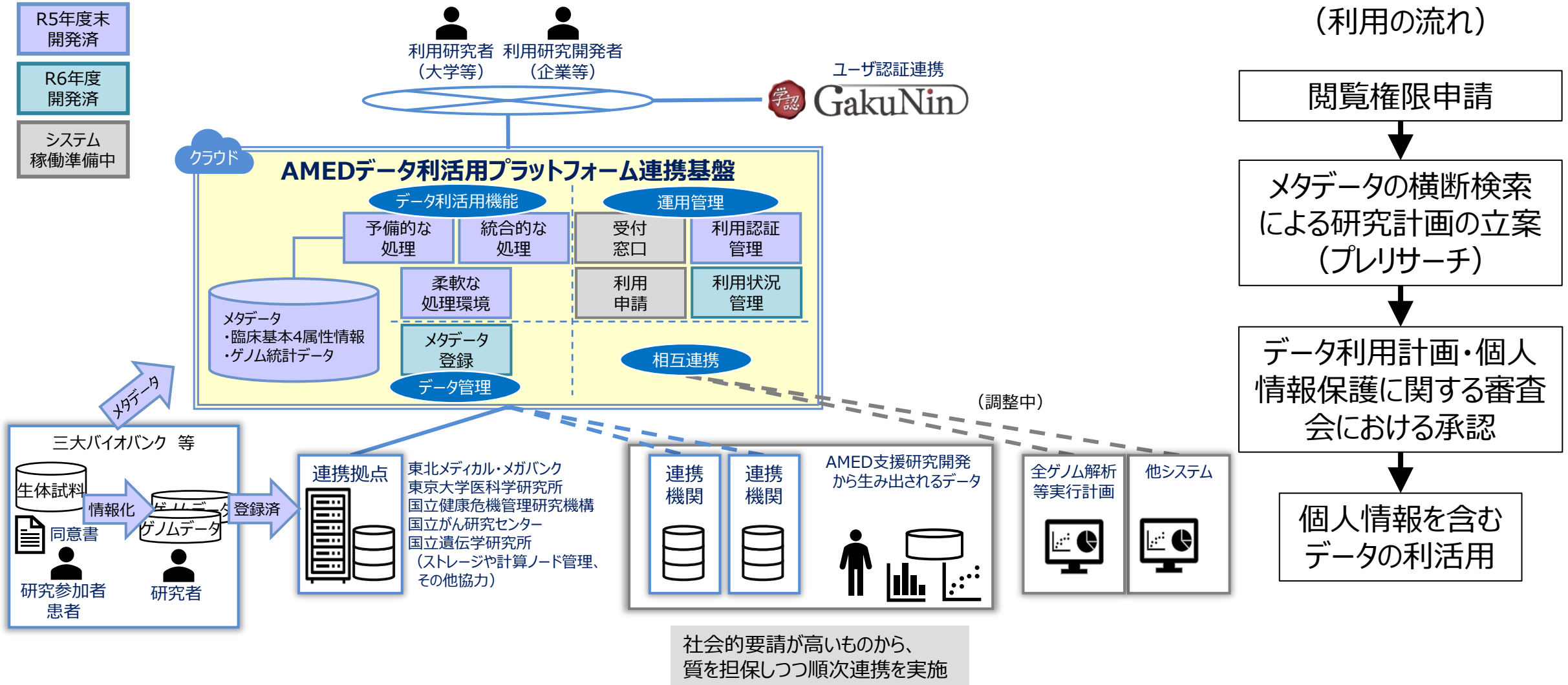
AMEDにおけるデータ利活用促進の取組

AMEDデータ利活用プラットフォーム（CANNDs）と
AMED研究開発データ利活用カタログ

令和7年5月16日

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）

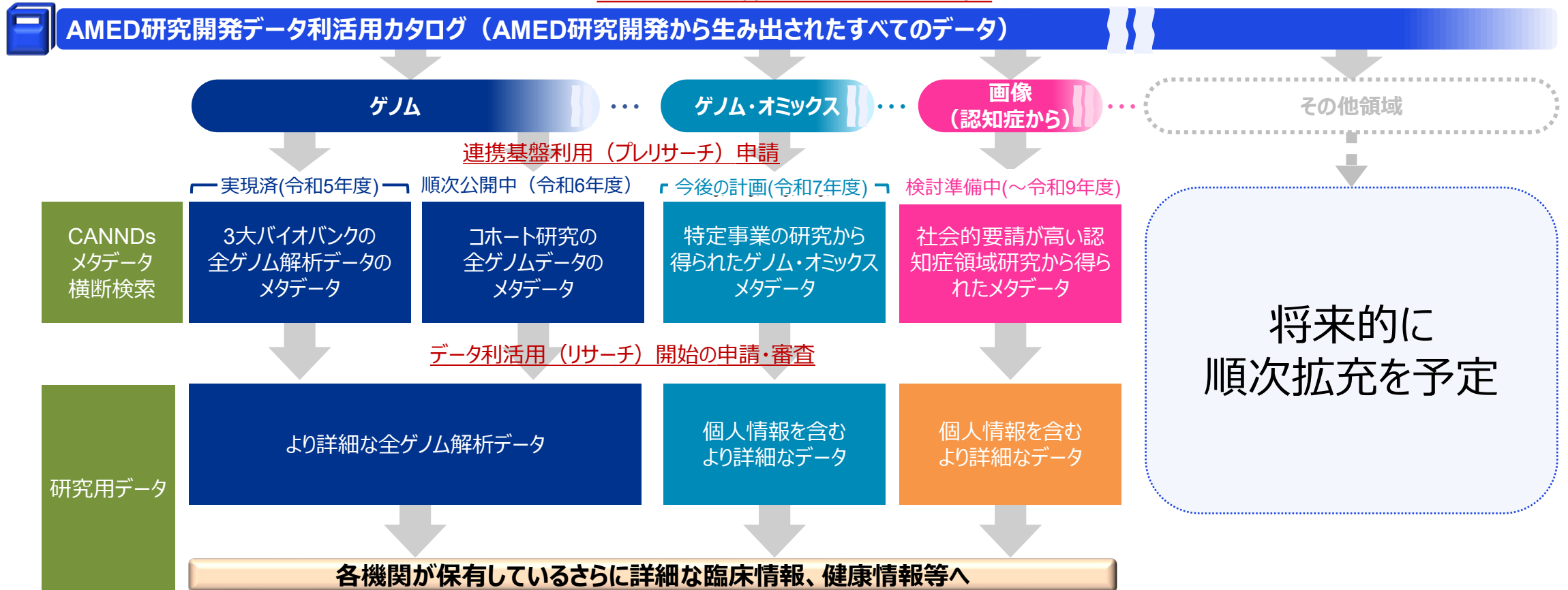
AMEDデータ利活用プラットフォーム（CANNDs）



AMEDにおけるデータ利活用促進の取組

研究や疾病予防、医薬品・医療機器の開発等を目的とした、AMED研究開発データの幅広い利活用を促進

申請不要（誰でもアクセス可能）



CANNDs：AMED研究から生み出されたデータの利活用促進を可能とする場

※内閣府：研究DXの取組

(1)信頼性のある研究データの適切な管理・利活用促進のための環境整備

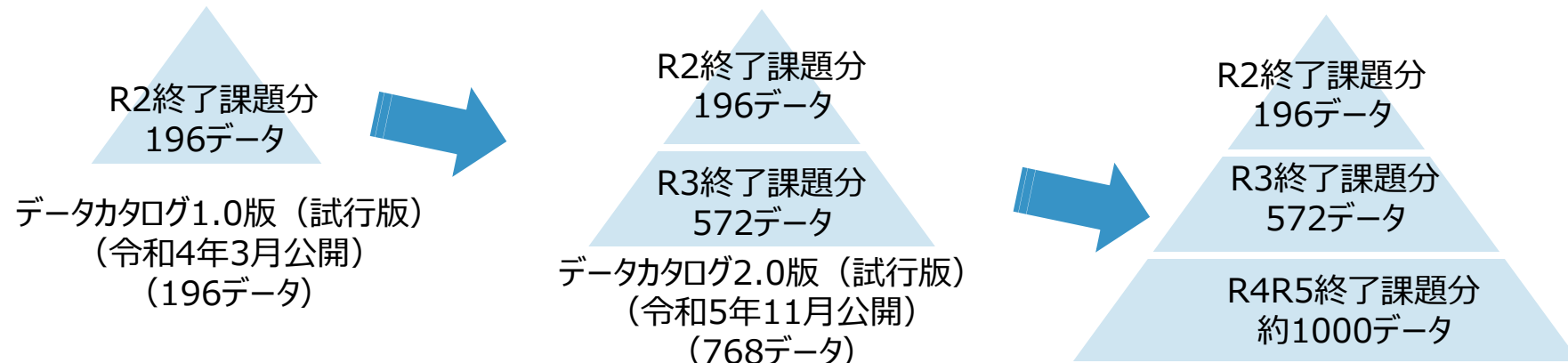
AMED研究開発データ利活用カタログに係る主な実施事項

令和6年度の主な実施事項

- 試行版（Excel）として公開していたAMED研究開発データ利活用カタログについて、検索・分析可能なデータベースを構築
- 令和4、5年度終了課題のデータマネジメントプラン（データの内容、保管場所、シェアリング方法等）について、公開の準備
- AMED研究データ利活用に係るガイドラインに基づいて、AMEDが支援した研究終了課題の公開状況の実態を調査。

令和7年度の主な実施計画

- 令和6年度に構築したデータベースを「AMED DataCat」として、5月に公開予定
- 令和2～5年度に終了した約1,800件のデータの検索、及び、対象疾患や開発フェーズなどのタグ分析、研究者のネットワーク表示が可能



AMED DataCatから公開

URL : <https://www.datacatalog.amed.go.jp/amed/>

CANNDsの連携データ拡充の取組

令和7年度 ゲノム・オミックスデータ

ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム（次世代医療基盤を支えるゲノム・オミックス解析）により創出された研究成果データ*

*)CANNDsから提供することを前提として作り出されたもの

令和8年度以降 臨床データ・画像（認知症より開始）

まずは、認知症関連の研究開発に役立つ脳画像データをはじめとした臨床研究データ

令和6～7年度 全ゲノムデータ（コホート研究データ）

大規模認知症コホート研究、日本多施設共同コホートJ-MICC（大幸研究、神奈川県みらい未病コホート研究）

令和5年度3月から利用受付を開始 全ゲノムデータ（三大バイオバンク）

バイオバンク・ジャパン（BBJ）、東北メディカル・メガバンク計画（TMM）、ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク（NCBN）

社会的要請の高いものから
順次連携し、
利活用可能なデータを拡充

AMED 研究事業で得られたゲノム以外のデータ（例えば、画像データ、臨床研究データ等）についても、社会的要請の高いものから、質を担保しつつ順次連携を実施

令和6年度 CANNDsに係る主な実施事項

- 令和6年3月に公開し、本格利活用開始
 - 3大バイオバンクの全ゲノムデータを提供（約2.3万件）
 - データ利用計画の適切性を審査する「AMEDデータ利用審査会」を運営し、3課題の利用を承認
 - 広報活動を実施。利用者の意見を反映した手続き効率化・利便性向上
- 利活用可能な格納データの拡充状況
 - コホート研究由来の全ゲノムデータ追加（約3万件に拡充）と利活用開始準備
 - ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム事業由来のゲノム・オミックスデータ追加の準備

令和7年度 CANNDsに係る主な実施計画

利活用可能な格納データの拡充に向けた取組み

1. コホート研究由来の全ゲノムデータの利活用開始

➤メタデータ格納の継続と全ゲノムデータの利活用開始

2. ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム事業由来のゲノム・オミックスデータの追加・利活用開始準備

➤メタデータの格納と利活用開始準備

3. 認知症（特に脳画像）データの利活用に向けた準備

➤格納するメタデータ、プレリサーチ方法（特に脳画像）の決定

➤ユースケース、操作画面イメージの作成

➤連携対象データセット（対象研究）の決定

令和8年度（以降） CANNDsに係る主な計画と課題

利活用可能な格納データの拡充に向けた取組みを加速

1. 拡充に向けた調査・検討・決定

- 優先して格納すべきデータ（社会的要請の高いもの）
- 格納対象疾患に係るプレリサーチに適したメタデータ・方法・ユースケース
- 格納に適した内容・質を有するデータセット

2. 連携基盤の利便性の向上

- 新たなプレリサーチ用データタイプ(画像、その他)への対応
- 格納疾患領域に適した操作画面イメージの追加開発、既存画面の改善等
- プレリサーチ用データの品質を調整（データクレンジング等）、格納

※ 利用者拡大に向けた取組みも継続（研究会の開催、利用例のWeb紹介、等）